

# いのちのネットワーク協議会

—支えるいのち・つながるいのちプロジェクト—

ニュースレター Vol. 7

## うれしい声

## 本年度の活動も後半に入る

各プロジェクトの活動ではうれしい声をたくさん聞いています。

宮城県七ヶ浜町仮設住宅で「今年も遠い所からよく来てくださった」と目を赤くされていた被災者。ボランティア報告会で「来年もぜひボランティアに行きたい」と生徒らの発表。「いのちの学校」の収穫祭で「こんないい行事は来年からは地域あげでの行事にしたい」と村の役員。ドーナツの会では「居場所のおかげで気持ちが楽になっています。相談者の話を聞きながら私も学ばせてもらっています」と。ゆめポケットからは「食育のことがよく分かり、手軽に作れる料理だったので家でも作ります」、また七ヶ浜仮設住宅から「いのちの宅配便でサツマイモをいただき、コウノトリを思い、復興に向けてがんばります」と礼状……

しかし、取組の中で見えてきた課題もたくさんあります。地道な活動をしていてこそその克服すべき壁。みんなで知恵を出し合い乗り越えていきたいと思えます。

来る1月20日、協議会の本年度の活動を振り返り、課題等についてシンポジウムを開きます。昨年以上に盛り上げるべく詳細を検討中です。乞うご期待！

**◇2013 いのちシンポ・冬鍋II・合唱ライブ（仮称）**  
**1月20日（日） 於：じばさんTAJIMA**

## ◇中高生の復興支援ボランティア報告会 8月22日



復興は徐々に進んでいきましたが、被災者の心の傷は深いものでした。がれきの山に心が痛みました。お年寄りの肩たたきをして、喜んでおられる顔を見ると元気がもらえました。しかし、ある女性の発言に衝撃を受けました。「自分は生きてよかったのか、津波に流された方がよかったのか分からない」。ほんとうの復興はまだまだだ。さまざまな形で自分が感じたこと、学んだことを伝え、来年も行きます。

中貝豊岡市長からは「中高生の発表には感動した。

今回のボランティアは市民の多くのひとたちの思いを背負った支援活動。現地には息の長い支援が求められている。いのちへの思いを寄せ、優しさと思いやりを取り戻す「いのちへの共感に満ちたまちづくり条例」もできた。ともに感謝の輪を広げたい。」と熱いエールを贈っていただきました。

## ◇支えるいのちプロジェクト

### いのちの宅配便



### 本年度2回目の「いのちの宅配便」10月19日



いのちの宅配便を送付しました。サツマイモ14ケース。宮城県七ヶ浜町仮設住宅に向けて発送。5地区の「いのちの学校」で栽培しました。

被災者の皆様方が少しでも元気になってほしいと春に苗を植え、このほど収穫しました。豊岡市内5地区（江本・新田、河谷、東構、佐々木、八条）の子ども会などが無農薬、有機栽培の野菜作り「いのちの学校」に取り組み、栽培しました。コウノトリと共生する郷にふさわしい環境を創り、農作物を被災地に送り届けたいとの願いを込めました。3回目は11月8日です。

### いのちの学校



八条下町地区ふれあい農園での「いのちの学校」で、サツマイモ、落花生の収穫をしました。地区の「農業博士」のおじさん2名に収穫の仕方を教えていただきながら、手際よく掘り出しました。1本のつるに特大のサツマイモが何本も入り、落花生も豊作。スコップを持つ参加者の手にも力が入っていました。

有機肥料、無農薬の栽培で、何回も草取りに精を出しましたが、苦労のかがありました。なお、農園には今、秋野菜の白菜、大根、かぶなどが元気よく育っています。



佐々木子ども会「いのちの学校」はサツマイモ掘りと野外炊飯などの収穫祭をしました。赤い大きなサツマイモがゴロゴロと出てきて、豊作でした。続いて、このサツマイモなどを使った野菜カレー、ご飯の準備に取り掛かりました。かまどを作り、木を燃

やし、飯ごうでご飯をたき、近くで取れた野菜をいっぱい入れた具沢山のカレーを作りました。近所の高齢者の方たちもお誘いして、にぎやかな食事会の開始。大量に作っただけにコクのある美味しいカレー、おこげもあるご飯に全員が「うまい！うまい！」と舌鼓をうっていました。また、かまどに残った炭火で焼いた「焼き栗」、「焼き芋」は格別でした。地域づくりの一翼を担う「学校」への第一歩を踏み出したような気がします。

(右の写真は日高町東構地区子ども会の収穫の様子です。)



# ひきこもり・ニート・不登校等を支える ―ドーナツの会―

## 「ドーナツの会秋イベント1 ―手織りとまゆクラフト―

10月6日（土）午後、手織りと、まゆクラフトをドーナツの会居場所（いのちネット事務所）で行いました。若者4名と保護者等2名が参加。



講師で相談員のMさんの丁寧な指導で、2時間ほどできれいなコースターやかわいいまゆ人形ができました。参加者は出来映えに満足そうで、これからも手織りがしたいと感想を述べ、ドーナツの居場所通いが続きそうです。家から出て、何かに夢中になって取り組み、人と交わることができれば、大きな成長、改善です。なごやかで、楽しい時間が過ごせました。また、秋イベント2―収穫

とお料理の集いは10月28日（日）、農園作業と料理を10名で楽しみました。

## 毎月の研修会「ドーナツの会」

昨年10月にドーナツの会が発足して1年。これまでの面接、電話相談は50人を超えています。長く家にひきこもっている、働きたくても仕事が見つからない、発達障害で悩んでいる、高校や大学等で不登校になっている、中には深刻な相談も（家庭内暴力など）・・・。

18名のドーナツの会の相談員が相談者の気持ちに寄り添いながら相談に乗っています。

相談員は臨床心理士、発達心理士、カウンセラー、子育てや家庭相談、教育相談に長く関わったメンバー。

平日は午後1時から5時まで2名の相談員が相談場所「ドーナツの部屋」に詰めています。時には希望により夜間・土日の面談、家庭訪問にも応じています。



気軽にちょっと寄れる場がドーナツの部屋です。悩みを一人で抱え込まないで相談員に聞いてもらってください。気持ちが少し楽になります。

今月から居場所スペース・交流スポットでのイベント、手織り・まゆクラフト、農園作業・料理などを始めています。他人と交流し、作業やレクレーションを通じて自信をつけ、自立につながれたらと取り組んでいます。このイベントの参加者の反応は良好です。

ドーナツの会のメンバーは毎月定例会をもち、研修しています。（同写真）

テーマは、ひきこりの家族や本人の支援のあり方、ひきこもりと発達障害の関係、カウンセリングの留意点、心理療法の取り入れ方、居場所の運営の仕方、病院・福祉施設・就労施設その他関係機関との連携等々について。

悩める人たちを少しでも支えたい、少しでも元気にさせてあげたいと集まったメンバーです。それだけに研修意欲は旺盛です。意欲のある方なら素人の方も歓迎です。一緒に学びましょう。 ―いのちに光を、地域で支えを！！―

## ◇つながるいのちプロジェクト

### 朝食の大切さを見直そう！わくわく食育クッキング

主催：ゆめポケット

朝食クッキングを開催しました(9月29日)。会場は出石町福住地区交流センター。朝ごはんの必要性を紙芝居で話し、調理に入りました。メニューは簡単な朝ごはん、おにぎり、具たくさん味噌汁(なす・かぼちゃ・玉ねぎ、2月のクッキングで作ったおいしい味噌、卵焼き、ヨーグルト和え、さつまいも鬼まんじゅう)

朝食をパンよりご飯に、野菜をたくさん入れた味噌汁を。朝食をしっかりと摂る生活に心がけたいものです。あわただしい朝、お母さんばかりでなく、お父さんや子どもたち、家族みんなの協力で気持ちよく一日をスタートさせましょう。

次回食育クッキングは11月17日(土)新田地区公民館 9:30~

一般対象お手軽地場産ご飯の会11月14日(水)新田地区公民館 9:30~



### ご支援のお願い

復興支援ボランティア、いのち宅配便、ドーナツ会、ゆめポケット等活動に、ご支援と協力をお願いします。ご支援を頂ける方は、事務局まで連絡して頂くか、次の口座へ振り込みをお願いします。

なお、一口以上(一口 5,000円)のご寄付を頂いた企業、団体名はホームページ等に掲載させていただきます。

現在、団体・個人から130件余りのご寄付を頂いています。(一口1,000円から)

振込先・郵便局口座(店番438)記号14340番号87455361  
口座名特定非営利活動法人 コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク  
・但馬信用金庫口座 本店 普通 番号 0731221  
口座名特定非営利活動法人 コウノトリ豊岡いのちのネットワーク

事務局 住所：豊岡市塩津町1-14 エールハイム102号室

電話：0796-26-1101 FAX：0796-26-1102

Email：[info@kounotori-inochinet.com](mailto:info@kounotori-inochinet.com)

ホームページ、ブログを開設(検索：コウノトリいのちネット)